



【新会長就任挨拶】

横須賀水交會会長 永田美喜夫



この新聞が皆様のお手元に届くのは「一足早い紅葉狩りにでも」という気分になる季節だと思いますが、どうかその頃までにはコロナが終息していることを願っております。

私は、6月4日の定期総会において会長を仰せつかりました永田です。横須賀水交會は発足以来長きにわたって戦没者及び殉職者の慰霊顕彰並びに海上自衛隊に対する協力支援に献身的

に取り組んでまいりました。これもひとえに歴代会長をはじめ会員の皆様のご尽力の賜物であり深甚なる感謝と敬意を表する次第です。若輩者ではございますが、この名誉ある横須賀水交會の名を汚さぬよう尽力してまいる所存ですので変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年以來猛威を振っている新型コロナウイルス感染の影響を受けて夏季防衛講座や賀詞交歓会といった大勢の方が参加される事業については中止せざるを得ませんでしたし、海自支援事業につきましても、殉職隊員追悼行事や海外派遣部隊の出国・帰国行事等、そのほとんどが隊員のみで実施されたため会員の参加はできませんでした。中でも、有志会員の皆様が楽しみにされていた部隊研修が2年

発行 令和3年11月15日(月)
編集 横須賀水交會事務局

続けて実施できなかった点につきましましては、隊員との対話を通じて海自の実情や魅力を知って戴く貴重な機会を逸してしまうとともに、会勢拡大という面からも少なからぬ影響を及ぼしたものと思っております。状況が改善され次第再開したいと考えておりますので、今しばらくご辛抱いただきたいと思えます。

一方で、このような中においても隊員たちは日夜周辺海域の警戒に目を光らせており、ジブチの基地やアラビア海においても50度を超える過酷な環境下で途切れることなく活動を続けております。ただ可哀そうなことに、海外に派遣される部隊は「しらせ」や練習艦隊を含め寄港地では燃料や食料の補給しか許されていないため、寄港地における上陸が一切できないという状況が続いております。感染拡大防止上やむを得ないことと納得されていることとは思いますが、

いずれの活動も半年近くに及ぶ長期行動であり隊員の心労は如何ばかりかと慮るばかりです。一日も早くこのような状態が解消することを願っておりますが今回のウィルスは短い期間で変異を繰り返し、変異株によっては既存のワクチンの効果が低下するという現象も報告されており、予断を許さない状況にあります。(次頁に続く)

横須賀水交會主要行事予定

令和3年3月までの主要行事予定は、次のとおりです。なお、最新の情報は横須賀水交會HP (<http://y-suikokukai.daa.jp/>)で御確認下さい。

1 幹事会
検討中であり、別途お知らせいたします

2 賀詞交歓会
中止されることになりました。

3 靖国神社月例参拝
来年2月は実施される予定です。

このような情勢の下、悲観的になり過ぎることは避けなければなりません。コロナとの戦いが長期戦になることも頭の隅におきながら会の活動に取り組んでいく必要があると考えております。

活動に当たっては以下の3点に留意していく所存です。

その第1は「やれるところからやっていくよう！」です。会員の多くが高齢者であり（といって皆さん本当にお元氣ですが）、ちよつとした不注意から感染されるようなことになれば取り返しのつかない事態にもなりかねません。また、担当役員の皆さんには多忙な勤務の傍ら担当事業の計画から実施までをほぼ一人で担っていただいております。加えてこのコロナ下では感染状況に応じていくつものケーススタディを行う等かなり負荷のかかる作業をしていただいております。もちろん体力・気力には自信のある方ばかりですので大丈夫とは思っています。やはりここは無理をせず、やれるところか

ら着実にやっていくことが大事だと思しますので、会員の皆様にもどうかご理解をお願い申し上げます。

2点目は、「タイムリーな情報発信を！」です。コロナで多くの事業が中止を余儀なくされ、発信すること自体が少なくなっているのも事実ですが、実施の可否に関する情報につきましてもなかなかタイムリーに発信できておりません。新聞の発行も年に2回と限られておりますので、会員の皆様の中には情報欠乏状態に置かれていると感じておられる方も少なくないと思っております。今後はHP等の手段を活用しながら極力タイムリーな情報発信に心掛けてまいります。最後は「確実なバトタッチで乗り切ろう！」です。既にコロナの影響で2年以上実施できていない事業が出てきておりますし、その間に担当役員の交代もありました。幸いなことに新旧役員間の申し継ぎは現役時代同様しっかり行われておりますので問題は起きておりませんが、

万が一感染終息が遅れるような場合に備えて気を付けておかねばならないことがあります。役員任期は原則として2年間で、最悪の場合一度も担当事業を経験せずに後任者にバトタッチするというケースが出ないとも限りません。当然最後に実施した時の資料は残っていませんが、資料の行間に埋もれているノウハウが消滅してしまいく過去の過ちを繰り返すことになりはしないかというのを危惧しております。我ながら老婆心とは思いますが、再度自分が担当した事業を思い起こして、反省点や改善点ばかりでなく、これまででは当然のこととして書き残さなかったようなこともしつかりと残しておくべきかもしれません。

コロナを念頭に置いた話ばかりになってしまいました。困難とも言える事態になってしまったからには、これを乗り越えていくしか道はありません。できることを着実にやり貫いて何とかこの試練を乗り越えていき

ましよう。一日も早いコロナの終息と、会員皆様のご健勝を心から願っております。



【護衛艦隊司令官挨拶】

海将 齋藤 聡



令和2年8月に第40代護衛艦隊司令官として着任しました齋藤です。人員約1万名、46隻の護衛艦及び7隻の補給艦・訓練支援艦を主力とした海上自衛隊の中核を担う部隊である護衛艦隊の指揮官として勤務できる喜びとその責任の大きさを日々感じております。

横須賀水交會の皆様には日頃から、海上自衛隊並びに護衛艦隊が大変お世話になっております。改めて御礼申し上げます。新型コロナウイルスの影響により着任以来、皆様にご挨拶させていただく機会を設けることができず、申し訳なく思います。その一方でこのような投稿の機会を

いただきましたので、我々護衛艦隊についてご紹介させていただきます。

護衛艦隊は令和3年9月1日をもって創設60周年を迎えました。これは平素からの国民の皆様のご理解とご支援があつてこのものです。この60年の間、護衛艦隊は、日本の防衛の最前線に立ち、変化する国内外情勢に的確に対応してきました。特に冷戦終了後の30年は、護衛艦隊に与えられる任務の幅が拡大し、活躍の場は海外にも広がりました。PKO活動や国際緊急援助活動、諸外国艦艇との防衛交流には護衛艦隊が中心となつて活動してきました。現在も2009年から続くソマリア沖・アデン湾での海賊対処行動や2020年から始まった中東での情報収集活動に護衛艦が従事しています。また、我が国周辺海域においては、東シナ海等での警戒監視活動を24時間365日途絶えることなく実施しています。今、この瞬間も我々の同僚が洋上で警戒監視等の任務に就き、

我が国の領海及び周辺海域並びに海上交通路を防衛しております。

早いスピードで変化していく安全保障環境に適合しつつ、各種事態に適切に対応できる態勢を構築していくことが護衛艦隊には求められています。そのために必要な教育・訓練を実施し、護衛艦隊の各部隊の能力を効率的に向上させていくことが、国民の皆様のご期待に応えることに繋がると考えます。

私は着任以来の勤務方針として護衛艦隊において連綿と受け継がれてきた「精強・即応」とともに、「誠実」を掲げ、隊員一人一人が「誠実」に勤務に取り組み、「誠実」に持ち場を守るよう指導してきました。特に昨今の新型コロナウイルスの流行が続く状況下において、絶え間なく任務を遂行するためには、一人一人の「誠実」な行動や心がけが極めて重要であると認識を強くしました。狭い艦内での感染拡大を防ぐために、引き続き感染症対策を「誠実」に行い、「精強・

即応」の維持に努めてまいります。

我々の洋上での活動は、なかなか国民の皆様目に触れる機会がありません。しかしながら、皆様に我々を知っていただくこと、理解を深めていただくことが我々の力になります。我々の活動の一部は海上自衛隊公式SNSやホームページ上で紹介させていただきます。また、新型コロナウイルスの流行が落ち着いたら折には、ぜひ皆様に艦艇を見に来ていただきたいと思っております。

先輩方のご尽力により、輝かしい歴史を歩んできた護衛艦隊が、これからも海上防衛の要として常に国民の皆様信頼される部隊で在り続けられるよう、先頭に立ち全身全霊で職務にあたって参ります。

結びに、横須賀水交會の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。とさせていただきます。

【特別投稿】

『築地』海軍史跡と市場めぐり

〔後編〕

水交会会員 齋藤 ゆみ



〈在りし日の築地場内市場〉

以前の築地場内市場の太物

(まぐろ) 競りに『吉富』さんのお伴で撮影に出撃する時は、冬ならばまだ真つ暗な朝5時には正門をくぐった。場内にはドドドゴオーツ!と轟音響かせるトラックやターレ、バイクの激流、その渦をかくくぐって市場に飛び込んでいく高揚感は忘れられない。競り場では開始前に商品のマグロをチェックする中卸たちの鏝競り合い、競り人の打ち鳴らす鐘と飛び交う符牒、緊張

みなぎる真剣勝負はまさに「鉄火場」競りが終わり、通路に商品を担ぐ人やバイク、荷車が押し合い、怒号も飛ぶなか商品をさばく売り場、そこは日々戦場。インバウンド全盛期で外国人観光客も大勢歩き回っていた。大抵の仲卸は「しようがねえなあ」と観光客に寛容だったが、商品に触ったり客の見定め邪魔になる横着者にはキレていた。

日本各地また世界から選りすぐりの魚が届く築地は、世界の海の情報が集まる海洋リサーチセンターでもある。オーストラリア、ボストン、地中海、チリ、しけや漁獲の情報がFAX片手の仲買いの間を飛び交う。未明に入荷した季節毎の北陸のぶりや蟹、東北の秋刀魚、四国の鰹も、今水揚げしたばかりかの新鮮さ、築地には日本中の海の匂いが充満していた。

カメラ抱えてうろつく私に、商売には厳しい仲卸業者さん達は不思議と皆さん優しくかった。魚とそのプロ中のプロに対するリスペクトは感じて貰えたのだ

ろう。豊洲に中央卸売市場が移転してから何回か訪ねたが、整然と計画されすぎた空間には、以前の人間臭さや生活感が無く、一種よそよそしく撮り気が起こらないのだった。



「海軍兵学寮跡」と「海軍軍医学校跡」の碑

〈築地 海軍史跡散歩コース〉

地下鉄大江戸線「築地市場」駅を出て、国立がん研究センター研究所研究棟の北東側に「海軍兵学寮跡」「海軍軍医学校跡」碑が並んでいる。そこから歩き築地4丁目交差点の北西側、築地KYビルに。2階の「築地よりみち館」では、明治の兵学校や海軍省の錦絵のパネルを見ることが出来る。



交差点から晴海通りを南下した築地6丁目、蕎麦屋長生庵の前に「八紘一宇の碑」がある。さらに歩いて勝鬃橋のたもとには「かちどきの渡し」碑とともに「海軍経理学校跡碑」がある。勝鬃橋そのものは、日露戦争の旅順陥落記念で名付けられた「かちどきの渡し」の名前が橋に受け継がれ1940年に完成している。少し道を戻り場外市場を通り抜けると「波除(なみよけ)神社」がある。1659年それまで難工事だった築地の埋め立てが、流れついた御神体を祀ると、波が収まり工事が進んだという縁起による。すし塚や玉子塚、海老塚やお稲荷さんもあり、有名な獅子頭とともに地域の信仰を集めている。この神社

には錨の絵柄で「航海安全・大漁満足」の絵馬があり、護衛艦の艦長さんに差し上げ喜ばれている。



波除(なみよけ)神社

ある時もこの絵馬を求めに波

除さんに詣でた所、茅の輪を慣れたふうに恭しくくぐっている大柄な外国人男性がいた。どこかで見た人だが思い出せない。声をかけて話の途中で誰だか思いついて、慌て出した所へ、先に名刺を渡された。映画『築地ワンダラーランド』中で解説者として出演していた、ハーバード大学ライシャワー日本研究所のT・C・ベスター教授であった。いくら大漁満足の絵馬を買ったとはいえ、ハーバード大教授を一

本釣りとは…。

最後に「旗山」に行く。この場所は本来、これまた地域の信仰する水神社(正式には神田神社内水神社遥拝所)の敷地だが、市場移転騒動のドサクサ紛れに推進派が豊洲に移動してしまい、このお社は空である。旗山だけがぼつねんと取り残されている。旗山碑文は海軍大臣・永野修身。「海軍卿旗ヲ此丘陵ニ樹ツ、世人呼ンデ旗山ト称ス。此地ヤ実ニ海軍経営ノ根基ヲ為セリ。蓋シ其、発祥ノ地ト渭ツベシ(略)」

〈私と海軍と海上自衛隊〉

焼津、紀伊勝浦、下田、氷見、三国、稲取、伊東、尾鷲…:魚市場巡りを始めて以来「鉄火です」と名乗る度に市場のおじさん達に笑われいじられてきた私、しかし恐ろしい事には、ひとは名付けたように生きていく事になるのである。



築地に通い始めた頃は、丁度NHKスペシャルドラマ『坂の

上の雲』が始まっていた。築地のホテルでテレビを観ながら、若き広瀬武夫や秋山真之がこの辺りを歩いていたと思うと不思議な気持ちになった。

海の好きな私は当時名古屋港に日本丸やクルーズ船を撮影に通ったが、年々船というより巨大なビル化していく客船に辟易し、たまたま見た2009年観艦式の動画の、単縦陣で海上をのしり進む護衛艦隊のカッコ良さに、心を鷲掴みにされてしまった。そして偶然知り合った地本の方から券を頂き、2012年観艦式予行の先導艦「ゆうだち」に吉浦から乗艦、壮大な海上パレードに圧倒され、そのまま海自ファンに出来上がり今日に至っている。みるみる海上自衛隊にのめり込んだ私は、初観艦式の翌年初めての呉・江田島に旅して、折しもの満開の桜に彩られた第1術科学校の建築と構内の美しさ、漂う歴史の香りに感激した。まぐるを追って築地を巡るうちに、別の鉄分に牽かれて江田島にたどりつくとは、

まさに鉄火の宿命の回遊コース。「鉄火つて鉄Ⅱ鐵(くろがね)火は火薬の事だったんかい」(マダロ仲卸さん)

える

〈築地で日本と漁業の明日を考へる〉
昨年久しぶりの築地では『ふじむら』で刺身5点盛り定食を頂き、波除神社に参拝『さのきやでまぐる焼き(たい焼きのマグロ型)をおやつにし』『米本珈琲』でエスプレッソというお決まりコースを楽しんだ。最近通い始めた歌舞伎座からも、幕間にちよつと歩いて築地の寿司屋に向けよう。場内市場はなくなつたが、築地場外市場と周辺の食料や調理用品、飲食店はそのままだり、市民や観光客が様々なグルメを楽しめる。コロナ禍でこれらの店も苦しんでいるが、戦中戦後の荒波を乗り越えた築地の商売の力を信じたい。築地に美味しい魚と海軍史跡を訪ね、海防の重要性和帝国海軍の歴史を顧みつつ、日本の魚食文化の素晴らしさを実感する散歩を、皆様もいかが？

【横須賀散歩】

火猿

横須賀散歩(5)

..芥川龍之介文学碑「蜜柑」

走る汽車の窓を開け、見送る弟達に蜜柑を投げた少女の情景を描いた芥川龍之介の短編「蜜柑」の文学碑が「吉倉公園」の中にあります。芥川は東京帝大を卒業後、海軍機関学校英語教官の職を得て、鎌倉の下宿から横須賀線を通って来ました。「蜜柑」は、横須賀駅を出発してすぐ、この吉倉公園辺りでの出来事だそうです。「鼻」「羅生門」「地獄変」なども、機関学校教官時代に執筆されています。

芥川は「生徒は皆勇猛な奴ばかりで、あらゆる悪徳は堂々とやりさえすればいつでも善になるかのごとき信念を持っています」と書き残しています。どうやら青年文士には海軍の気風が合わなかったようです。

(火猿)



文学碑「蜜柑」



吉倉公園

芥川は一時、横須賀の汐入町580番地「尾鷲梅吉」方(現、汐入3丁目1番付近)に下宿していました。この辺りは、今は更地になっています。(下写真)

横須賀散歩(6) ..

パイン/料亭「小松」

海軍さんからパイン(松)と呼ばれて親しまれた料亭「小松」は、平成28~2016年に焼失してしまいました。横須賀に鎮守府が置かれた翌年の明治18~1885年に開業してから、海軍と共に歩み、戦禍を免れたのに大変残念です。横須賀から海軍の面影がまた一つ消えてしまいました。

佐世保の「ヤマ/萬松楼」は人手に渡り、呉の「メイ/五月荘」は大丈夫でしょうか? 音頭の「戸田本店」や江田島の「坪希旅館」、近くは横浜金沢の「千代本」は頑張っている様



新旧「小松」



焼失後の「小松」、庭石だけが残っています。

です。一つ面白い話題を、舞鶴の「松栄館」が一昨年、海軍料理レストランとして復活したそうです。(火猿)

【トピックス】

横須賀水交会令和3年度
定期総会及び講演会開催

6月4日(金)横須賀水交会の令和3年度定期総会及び講演会が、横須賀商工会議所301研修室において、万全の新型コロナウイルス感染症予防対策を行った上で開催されました。

総会の参加人数は収容率の制限から55名でした。松本常務幹事の司会により、過去の大戦等で亡くなられた海軍の英霊、海上自衛隊で殉職された隊員並びに水交会会員物故者に黙祷を捧げました。その後、加藤会長を議長として、3つの議案について審議が行われいずれも賛成多数(賛成・会長一任・460名、反対・0)で了承されました。

その概要は次のとおりです。

① 「令和2年度の活動報告、収支決算報告、監査結果報告」では多くの行事等が新型コロナウイルス感染症対策のため、中止または関係者のみの実施とな

りましたが、可能な範囲で海上自衛隊支援に取り組みました。

② 「令和3年度役員」では会長及び常務幹事等の交代について了承を得ました。③ 「令和3年度活動計画及び予算」については、水交会本部業務計画に基づく6つの活動方針ごとに事業計画を策定したが、新型コロナウイルス感染症の感染状況に際して柔軟に対応することとされました。

次に本会会員で令和2年秋及び令和3年春に叙勲受章された方々の紹介があり、参加者全員が拍手をもって祝福しました。

その後、新入会員(令和2年度・27名、令和3年4月末現在で更に4名が入会)、及び新旧役員の紹介がありました。また、高泉常務幹事の退任に伴い会長から感謝状が贈呈されました。

会長交代に伴い水交会本部杉本理事長から加藤前会長に感謝状の贈呈及び永田新会長への委嘱状の手交が行われ、総会は成功裏に終了しました。

水交会定期総会



総会の後、「海上自衛隊の現状について」と題して、横須賀地方総監 酒井良海将による講演が行われました。

酒井海将は12月末に横須賀地方総監に着任されていますが、呉総監の時を含めて部外者に対する講演は初めということでも少し緊張していると挨拶されましたが、1時間に及ぶ講演を時折ユーモアを交えながら見事に実施されました。まず、「海上自衛隊の戦略・活動」では中国海軍の活動状況や英海軍空母クイーンエリザベスを中核とする機動部隊の東アジア展開、インド洋における海自艦艇によるプレゼンス活動等、普段なかなか聞くことのできない話をお聞きすることができました。「海上自衛隊の装備」では、海上自衛隊の装備の変遷と今後の整備の方向性と最新装備艦艇、航空機の紹介がありました。

「海上自衛隊の人事」では、①定員と実員の推移②募集への取り組み②女性の活躍・ワークライフバランス推進に関する

取組。そして「コロナウイルス感染症と海上自衛隊」では、①部隊運用への影響②募集への影響について最新の情報を図、数値、グラフを交えて分かりやすく説明して頂きました。また、ワクチンの職域接種はまだ先になるとの事ですが、防衛省として厚生労働省への協力を兼ねたワクチン接種を始めたという大変興味深いお話等も頂きました。

酒井総監による講演は、海上自衛隊の活動が一段と重要性を増すとともにその活動範囲も拡大していることを認識するとともに、コロナ禍における隊員の厳しい勤務環境について改めて認識できた貴重な時間となりました。(石井 順 幹事 記)



【お知らせ】

横須賀水交会 全会員用

メーリングリストについて

「メールによる 会員の皆様への行事等のご案内」を行っております。つきましては、メーリングリストへの登録を希望される方は次の要領でご登録をお願いいたします。

① 登録用アドレス

memberlist_regist@

y-suikokai.sakura.ne.jp

② 登録内容

(例)

(1) 氏名・海尾護

(2) 会員番号・0174183

(3) メールアドレス

uniomamor@gmail.com

※登録アドレスは、お一人につき1アドレスとさせていただきます。何かご不明な点がございましたら、登録アドレスへ一報ください。以上、よろしくお願いたします。

(檜森 晃治 幹事 記)



叙勲受章者(春の叙勲)

次の会員の方が叙勲を受けられました。(敬称略)

令和3年春の叙勲者

瑞宝小綬章・阿部 哲夫

今村 修二

高橋 節男

廣田 恵

(一瀬 良文 事務局長 記)

訃報

4月本紙発行以降、次の会員が逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。(敬称略)

岩瀬 榮(3年1月4日)

佐藤 久治(3年4月1日)

天沼 正光(3年5月17日)

藤田 耕三(3年6月3日)

武内 武(3年8月16日)

新倉 賢爾(3年9月10日)

松本 三郎(3年9月20日)

(一瀬 良文 事務局長 記)

新(編)入会員

令和3年2月〜9月

次の方々横須賀水交会に新たに入会(編入)されました。(敬称略)

(敬称略)

編入 なし

入会

渡部 友美(有志) 二木 祥一

(有志) 山本 博司(有志) 吉田

正人(有志) 杉江 敬(有志)

谷川 淳一郎(有志) 眞田

みどり(有志) 篠原 研司(技官)

梅津 理(事務官) 尾崎 仁美

(有志) 岡本 美央(有志)

近藤 千果羅(有志)

【編集後記】

令和3年10月現在、ワクチン接種率向上によるものなのか、明確にされていませんが、新型コロナウイルスの感染者数が減少しています。もろ手を挙げて安心する事はまだまだできませんが、希望の光が見え始めたような感じがします。(編集担当 石井)



五輪ボランティア

(電波監視業務)に参加